

魔法の言葉

長光寺住職 福島伸悦

新年を迎え、神社仏閣にお参りされる方がたくさんいらっしゃいます。そこで、各人各様、身体堅固、心願成就、無病息災、合格祈願など願掛けします。思いを何かの形で行動に起こすと言う事は、願いが叶うか叶わないかは別として、生きていくうえで大事なことだと思います。願いをかなえるために一歩踏み出し、神仏に身を任せることは、自分の行いに対して後押ししてもらうことになります。思い続け、あきらめなければいつしか思いは叶うはずです。

思いをかなえるためには具体的に何をすべきかという魔法の言葉を使う事です。本当に魔法の言葉なんてあるのだろうかと思ってしまう人もいます。しかし、あるのです。「ありがとう」という言葉は、皆を幸せにしてくれる魔法の言葉なのです。言葉は言霊と言います。つまり、私たちが吐いた言葉は生きているのです。唾を天に吐くと自分の顔にかかります。同じように、良い言葉も悪い言葉も吐いた言葉は自分に返ってくるのです。吐くという言葉は口に+（プラス）と-（マイナス）と書きます。-（マイナス）を取ると叶うという字になります。つまり-（マイナス）の言葉を使わないで+（プラス）の言葉を使うと夢や願いは叶うのです。

道元禅師は「愛語能く廻天の力を学すべきなり」とおっしゃっています。愛語とは、幸せに至るためにしなければならない4つの実践行の一つです。字の如く思いやりのある言葉のことです。思いやりのある言葉とは、相手の人だけでなく周りの人たちにも良い気分させてくれます。逆に相手をののしるような言葉は、いやな思いをさせるだけでなく、周りにはその場から立ち去っていきます。「ありがとう」と言われて嫌な思いをする人がいるでしょうか。みんな気分良くなり自然と笑顔になるものです。笑顔の絶えない家庭、地域社会にしたいものです。